

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		石巻市かもめ学園 放課後等デイサービス				公表日	2026 年 3 月 24 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		ホールや保育室、和室など状況に応じた活動場所を提供している			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		状況に応じた職員数を配置している			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		スロープや手すりなどを使用し障害特性に配慮した環境を整えている			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		利用人数、職員数に応じて活動内容を検討している			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		状況に応じて落ち着いて過ごせる環境への移動ができるようにしている			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		毎月班会議、職員会議にて振り返りを行っています			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		毎年保護者向け評価表を実施し、業務改善に繋げている			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		月に一度の職員会議や班会議などを通して意見共有を行っている			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1	福祉工房による第三者評価を受けている			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		みやぎスクエアサポートのコンサルテーションを毎月受け支援の向上と職員間で支援の共有が出来ている			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		子どもの状態、特性に応じてた支援プログラムを作成している			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		子どもと保護者のニーズを聞き取り、計画に反映させている			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		放課後等デイサービス担当職員と情報共有を行いながら支援の検討を行っている			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		計画を共有したのちに支援を提供している			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		PEPやS-Mなどを用いてのアセスメントも取り入れている	未記入1		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		支援に必要な項目を踏まえた計画作成と支援を提供している			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		班会議にてプログラムを検討している			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			固定化されてしまっている部分もあるので固定化されないように検討を重ねていく		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		活動の中に静の活動と動の活動を分けて取り入れている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	朝のミーティングやホワイトボードにて確認をしている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		次の日の朝のミーティングにて振り返りを実施	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		業務後に支援記録を記入している	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		6ヶ月ごとにモニタリングを行い、計画の見直しを行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6		ガイドラインに沿った支援を行っている	未記入1
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		スケジュールボードなどを用いてやりたい活動を選ぶなど自己決定の機会を作っている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		放課後等デイ担当や担当職員が参加している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		地域の協力医と連携している	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		毎日の送迎時に共有を行っている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		見学なども行っている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7		引き継ぎ書を作成し、情報提供をしている	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6			地域の児童発達支援センターとの連携はあまりない 未記入1
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7		児童クラブとの交流については芸術活動やホールでの遊びを通して毎月一回程度交流を図っている	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7		子ども部会に担当者出席	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		送迎時に様子について共有している	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2		放デイ利用児家族へのペアレントトレーニング等は行われていないため必要と感じる
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		丁寧な説明を心掛けています	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		モニタリング時に保護者、本人の意向を聞き取り計画に反映している	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		同意を経て支援を行っている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		必要に応じて面談の機会を設けている	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	2		未記入1 今年度要望がなかったが要望が挙がった際には検討を行っていく
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		苦情等があった場合には内容を聞き取り、改善に繋げている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		毎月かもめだより発行している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		個人情報に記載の書類についてはカギのかかる書庫で保管している	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		動画や写真などを使い配慮している	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7		町内会に参加している	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		年度初めに防災マニュアルを保護者に配布している	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		BCPIに沿った訓練を行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		投与依頼書に応じて服薬等を行います	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		事前にアレルギーがある児童においてはアレルギー症状が発生した場合の薬を預かっています	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1	安全計画に沿った支援を行っています	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		マニュアルを配布して周知しています	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		ヒヤリハットが起きた場合には記録を行い、朝のミーティングで全体周知と職員会議にて再度ヒヤリハット防止策について検討している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		法人虐待防止委員会、職員会議内でのかもめ学園虐待防止委員会にて研修を実施している	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		身体拘束を実施する場合には事前に保護者、本人への説明と同意を経て、個別支援計画に記載し、やむを得ない場合に限り身体拘束を実施して。また、身体拘束を実施した際には記録と保護者への報告を行っている		